



はらか

【学校教育目標】ふるさとに誇りをもち、
夢の実現に向かって主体的に学ぶ腹赤っ子の育成



育成する児童の
<資質・能力>

やり通す力【強く】
協力する力【正しく】
考え行動する力【よく学ぶ】

地域とともにつくる防災の学び ～災害から命と暮らしを守る腹赤っ子へ

9月は防災月間です。この夏休み中も、熊本地震や千葉県・石川県・富山県など、日本各地での豪雨災害など、自然災害の猛威を目の当たりにしました。被災された方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、「災害はいつ、自分たちの身に起きてもおかしくない」という危機感を改めて感じます。「自分の命は、自分で守る」意識を高めていきたいと思ひます。

腹赤小では、今年度も防災教育の充実を図り、知識を学ぶだけでなく、地域と一体となって実効性の高い「生き抜く力」を育む学習を目指します。災害時に役立つ知識を行動力を育むには、学校・家庭・地域が一体となった学びが不可欠です。皆様のご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いしします。

【地域と学校が手を携える主な防災学習】

5・6年生「地域合同防災教室」（学校運営協議会 主催）学校運営協議会の委員の皆様が主体となり、地域の防災関係者や住民の皆様と協力して実施します。避難所運営の実際を体験・検証しながら、子どもたちが「地域の一員として何ができるか」を自ら考え、行動するという主体性を育みます。

4年生「マイタイムラインとエネルギーの学び」（12月予定）「防災WEST」および九州電力の協力を得て実施します。大雨などの災害発生時に家族の命を守る避難行動計画「マイタイムライン」の作成や、災害時の電力・エネルギーの役割について多角的に学びます。

昨年度の様子



地域の皆さんと一緒に避難所設営



お世話になりました！「学校アンケート」～児童・保護者・教職員の比較から～

令和8年度 保護者×教職員×児童 三者比較分析

腹赤小学校 4段階スコア（わからない除外） 児童n=172 保護者n=78 教職員n=12

【スコア基準】 4=とてもそう思う 3=まあまあそう思う 2=あまり思わない 1=そう思わない / 中央値：2.5点 / ピンク=児童 青=保護者 緑=教職員

児童 全体平均

3.45 / 4

低学年3.68 → 中学年3.45 → 高学年3.26

保護者 全体平均

2.90 / 4

n=78 中央値2.5を上回る

教職員 全体平均

2.70 / 4

n=12 中央値2.5を上回る

児童の傾向

全体的に高いスコア。学年が上がるにつれて自己評価が下がる傾向あり。特に「読書・図書室（低3.75→高2.59）」「メディアコントロール（低3.48→高2.71）」「自ら学習（低3.76→高3.03）」の低下が顕著。高学年になるほど自分への評価が厳しくなる。

保護者の傾向

児童の自己評価より全体的に低め。特に「メディアコントロール（保2.29 vs 児3.05）」は最大のギャップ。子ども自身は気をつけていると感じているが保護者の目には十分に映っていない。「読書・図書室（保2.59 vs 児3.06）」も同様の傾向がある。

三者ともに高い項目

交通ルール・友達関係・体育
「交通ルールを守る（児3.89）」「いじめせず友達大切（児3.70・保3.40・教2.80）」「体育でのめあて達成（児3.66・保3.04・教3.12）」は三者とも高い。

三者共通して注目すべき点

読書とメディア

「読書・図書室」は児童・保護者・教職員の全員が課題と認識。「メディアコントロール」は子ども自身は努力していると感じているが保護者・家庭では最も低い評価。学校での指導と家庭での実態の間にギャップが見られる。

12月に向けた重点課題

- ①読書・図書室の活用促進
- ②メディアコントロールの家庭連携強化
- ③学びの楽しさを感じる取組の充実による学習意欲の維持・向上

今後、これらの課題解決に向けた取組を進めていきます。児童・保護者・学校が一体となって取り組んでいきましょう。ご支援・協力の程、どうぞよろしくお願いいたします。